

ふくし作文コンクール
中学生の部 最優秀賞

小さな支えが大きな支え

鯨ヶ沢中学校一年

奥口 おくぐち

奏未 かなみ

初めにみなさんは、「支える」というと、
どんな事を想像しますか。

「いすや階段、橋や家など」という「物」の支
えを答える人もいると思います。しかし、私

が今から書いていくのは、「支える」の中で
私が最も難しいと思う「人同士の支え」につ
いてです。

今年の夏の初めに、私の母の祖父が七くな
りしました。去年には祖母も七くなりました。

中学校専用原稿用紙

この二人は五人の子供の育児を終えた後、家
庭の事情で、私の母が小さい頃から大人にな
るまで、親代わりとして厳しく、愛情を込め
て毎日毎日育ててくれていたそうです。また
私が生まれて小さかった頃にはいろいろな所に
遊びに連れて行ってくれた思い出もあります。
そんな、私の周りのおじさんやおばさん、
父や母、いとこ、誰もまでを「支えて」くれ
ていた存在だった事を聞いた時、涙が出まし

た。心の中で「本当にありがとう」と思いま
 した。また、私以上に思っているのが、私の
 私の母でした。
 しばらくの間、母はあまり元気がありませ
 んでした。なぜだか、母が元気でいないと、
 私も元気が出ませんでした。その時、私は気
 づきました。へいつも支えられっぱなしだか
 らだ。とです。私は、毎日ごはんを食べられ
 るし、学校で勉強をする事もできるし。何
 よりも支えられていると感ずる事は、バスケ
 の練習に毎日送ってくれている事、都合のつ
 かない時は友達の家で頼んでまで行かせてく
 れる事、最近はやめると言っているけど、試合
 会場にいつも来て、「がんばれ！」と人一倍
 叫んで応援してくれている事。
 私は、たくさんの人、「小さな支え」が、
 私が生きていく中での「大きな支え」になっ
 ているんだと思います。
 母が元気かない時は、私はいつも通りに元
 気にふるまおうと思いましたが、この

っ小さな支えが大きな支えになった。たというこ
とに気づく人が増えて、感謝をもつて生活し
ようという気持ちになる人が一人でも多くい
ると嬉しいです。

中学校専用原稿用紙